

マテリアリティ

私たちノリタケグループは、気候変動、テクノロジーの進化、人々のライフスタイルや価値観の変化など様々なものが急速に変わりゆく時代においても、社会の課題やニーズを把握し、継続的に新たな価値を提供していくことで社会の持続的な発展に寄与、貢献したいと考えています。2030年に向けた長期ビジョンを見据え、当社グループが優先して取り組むべきマテリアリティ(重要課題)を「環境負荷の低減」「新しい価値の継続的な提供」「良質・安全な製品の安定供給」「ウェルビーイングな社会の追求」「従業員エンゲージメントの向上」「ガバナンスの持続的な強化」の6つとして、持続可能な社会の実現と企業価値の継続的な向上を目指すサステナビリティ経営を推進します。

マテリアリティ(重要課題)

	マテリアリティ	主な取り組み内容	2023年度の結果(進捗)	2024年度目標
地球を元気に	環境負荷の低減 関連するSDGs項目	CO ₂ 排出量の削減 不要物の削減 環境配慮製品の提供	CO ₂ 排出量:5.1万t(2018年度比▲23%) 不要物排出量:1.02万t 環境配慮製品の売上高比率9%	● CO ₂ 排出量7.3万t以下、2018年度比25%以上削減 ● 不要物排出量1万t以下 ● 環境配慮製品の売上高比率10%以上
	新しい価値の継続的な提供 関連するSDGs項目	新商品の提供 新事業創出の仕組みづくり コア技術の開発力強化	新商品売上高伸長率19%(2022年度比) ・全従業員から募る開発テーマ提案制度と事業化のための開発プロセス(ステージゲート制度)の運用を開始 ・オープンイノベーション推進体制を整備 特許保有数9.5%増(2022年度比)	● 新商品売上高伸長率25%(2022年度比) ● オープンイノベーションの推進 ● 特許保有数10%増(2022年度比)
社会を便利に	良質・安全な製品の安定供給 関連するSDGs項目	品質向上に向けた活動の推進 サプライチェーンマネジメントの推進	製品事故件数:0件 クレーム件数:26%削減(2022年度比) 品質方針の策定と展開および内部監査によるマネジメント強化 事業部門における調達活動の課題把握 購買ガイドライン受領確認書回収率96% 重要取引先へのアンケート実施	● 製品事故件数0件 ● クレーム件数20%削減(2022年度比) ● 品質保証体制の強化 ● 持続可能な調達に向けた体制の強化 ● 購買ガイドラインに対するアンケート回収率80%以上
	ウェルビーイングな社会の追求 関連するSDGs項目	人権の尊重 ウェルビーイング製品の提供 地域社会への貢献	サプライヤー向け、社員向けにアンケートを実施 ウェルビーイング製品の売上高比率8.2% 食空間を豊かにするイベントの開催9回 社会科見学の受け入れ43校	● 人権デューデリジェンスの推進 ● 売上高比率8%以上 ● 食空間を豊かにするイベントの開催 ● 社会科見学の場の提供
人と社会を幸福に	従業員エンゲージメントの向上 関連するSDGs項目	従業員の心身の健康増進 いきいきと働ける職場づくり 多様性を尊重する風土の醸成	有給休暇取得率70.6% ストレスチェック受検率95.1% 新人事制度の策定 エンゲージメントサーベイの実施および結果に対するアクションプランの設定 男性育児休業取得率85% 女性役職者比率20%増(2022年度比)	● 有給休暇取得率70%以上 ● ストレスチェック受検率90%以上 ● 人事制度の見直し ● エンゲージメントサーベイの実施と課題設定への活用 ● 男性育児休業取得率50%以上 ● 女性役職者比率20%増(2022年度比)
基盤を強く	ガバナンスの持続的な強化 関連するSDGs項目	ガバナンス体制の強化 情報セキュリティの向上 コンプライアンス遵守の徹底	監査等委員会設置会社へ移行 取締役会実効性評価結果から抽出された課題について改善策を実施 サステナビリティ統括委員会を設置(2023年4月) 多要素認証ログインの展開、および社内ネットワークへの端末認証を開始 下請法、輸出管理規定等に関する研修を実務担当者を対象に実施	● 取締役会の実効性向上 ● サステナビリティ経営推進体制の強化 ● ネットワークセキュリティの強化 ● 法令や規程に対するリテラシー教育の実施

優先的に取り組む課題の特定プロセス

